

記者発表資料
配布日

令和6年10月25日

■ 同時発表先 : 合同庁舎記者クラブ
広島県政記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

天満川の十日市天満川岸公園付近において河川掘削工事に着手します

現在、国土交通省太田川河川事務所では、高潮被害等から地域の安全・安心を守るための堤防整備等を実施しています。

今回、天満川の十日市天満川岸公園付近において河川掘削工事に着手しますのでお知らせします。

工事期間中は工事用車両の進入路および仮設ヤードの設置により、十日市天満川岸公園内の河岸緑地、歩道が一定期間利用できなくなります。また、既存樹木を極力保全しながら工事を行いますが、やむを得ず一部の樹木の伐採等を行う必要があります。

地域の安全・安心のため、ご理解ご協力を頂きますようお願い致します。

記

工事箇所 : 天満川の広瀬橋より上流の約 170m 区間
(広島市中区西十日市町付近)
現地施工期間 : 令和6年11月中旬～令和7年8月下旬を予定
工事の主な内容 : 河床掘削工事
詳細は別紙のとおりです。

ご不明な点がございましたら、下記問い合わせ先までご連絡ください。

以上

<問い合わせ先>

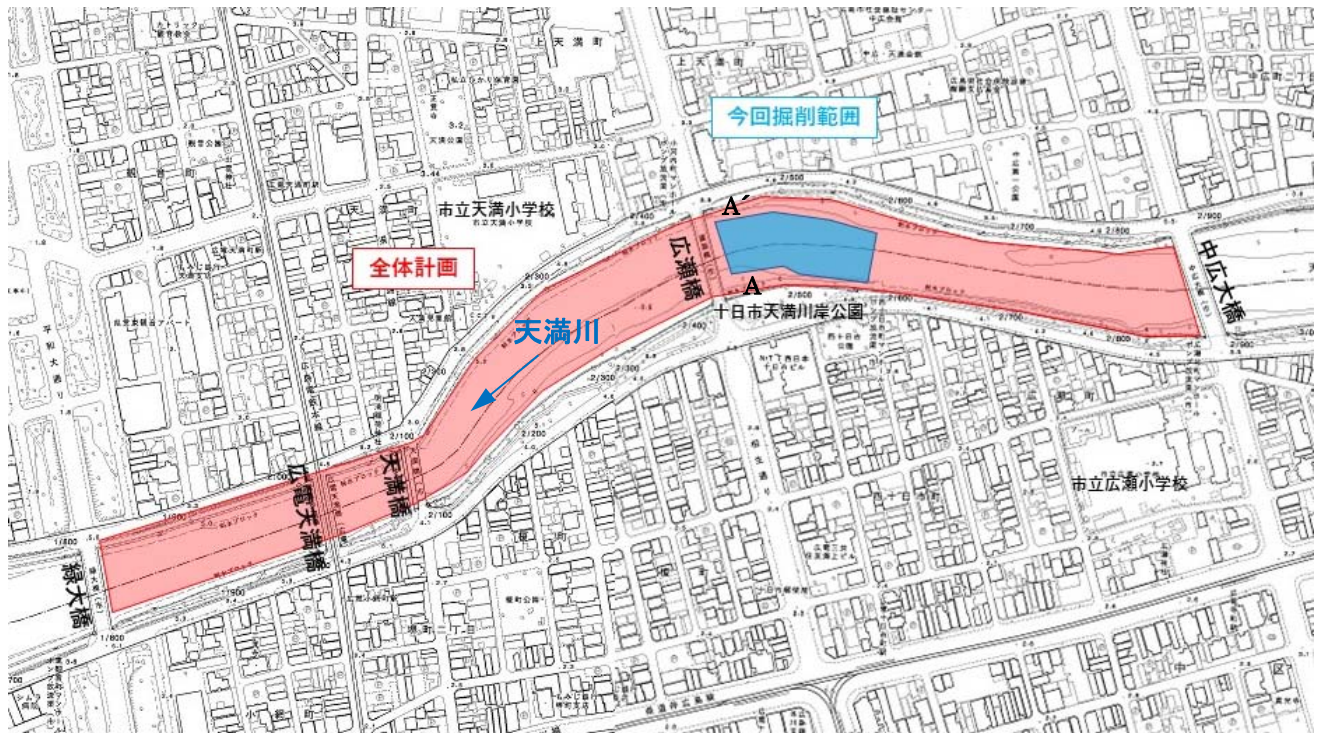
国土交通省 中国地方整備局 太田川河川事務所 082-221-2436(代表)
副所長(改修) 阿部 智 (あべさとし)
工務課長 山本 英利 (やまもとひでとし)

■ 工事の範囲と内容

今回工事を行う範囲と内容は以下のとおり計画しています。
 なお、現地の状況等により計画の見直しが生じる場合があります。

○工事の範囲

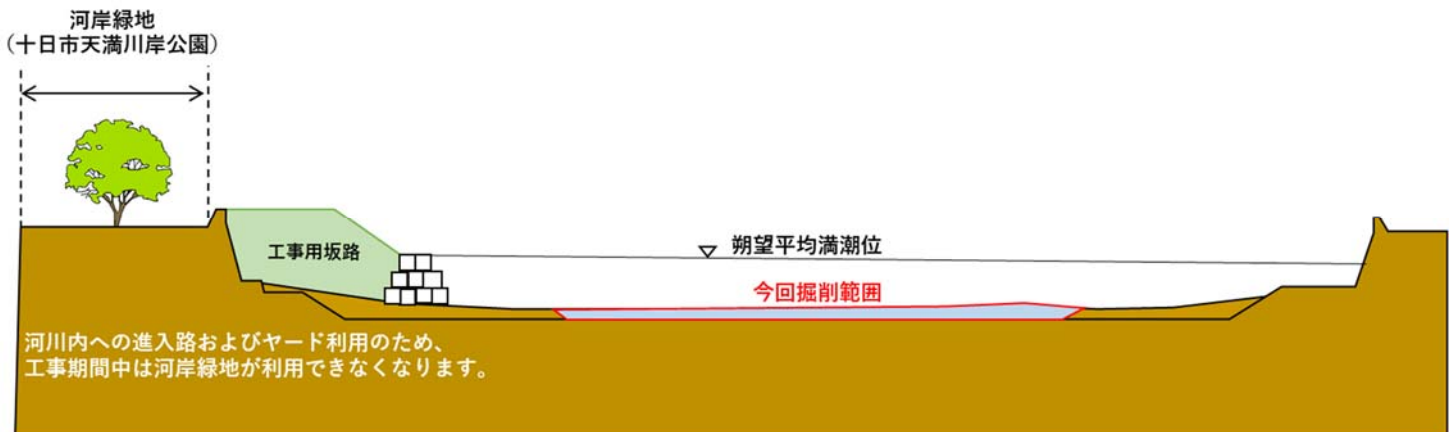
天満川の緑大橋から中広大橋区間の河道掘削工事を実施します。



○工事の内容

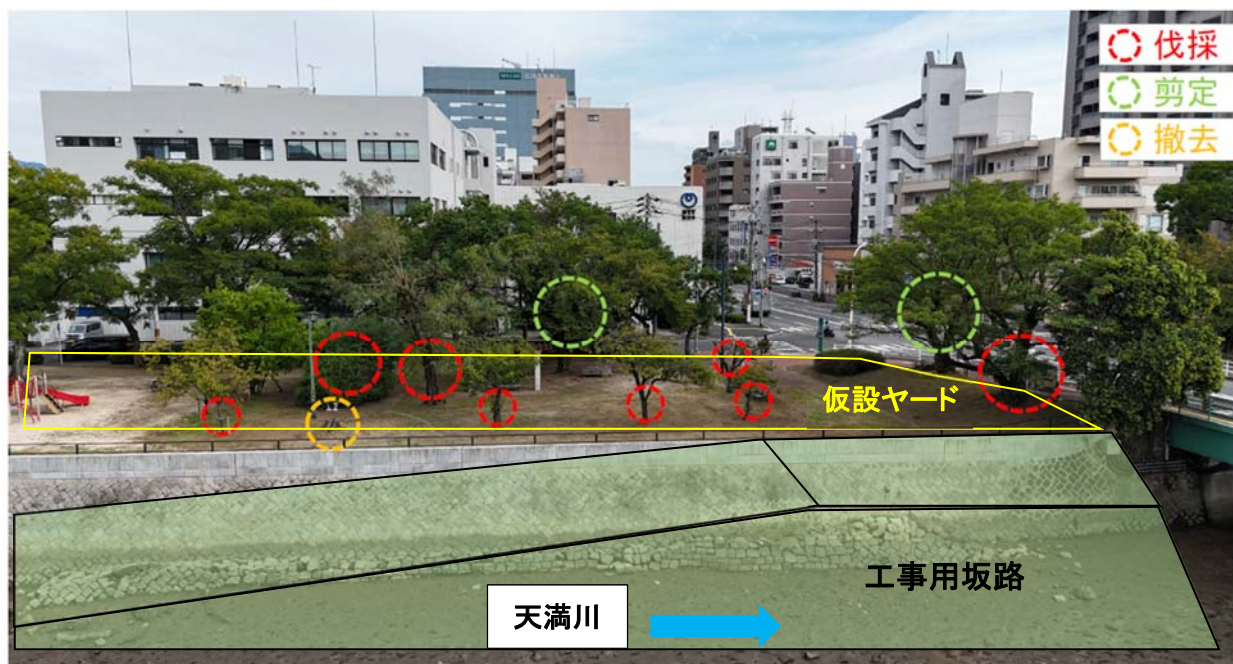
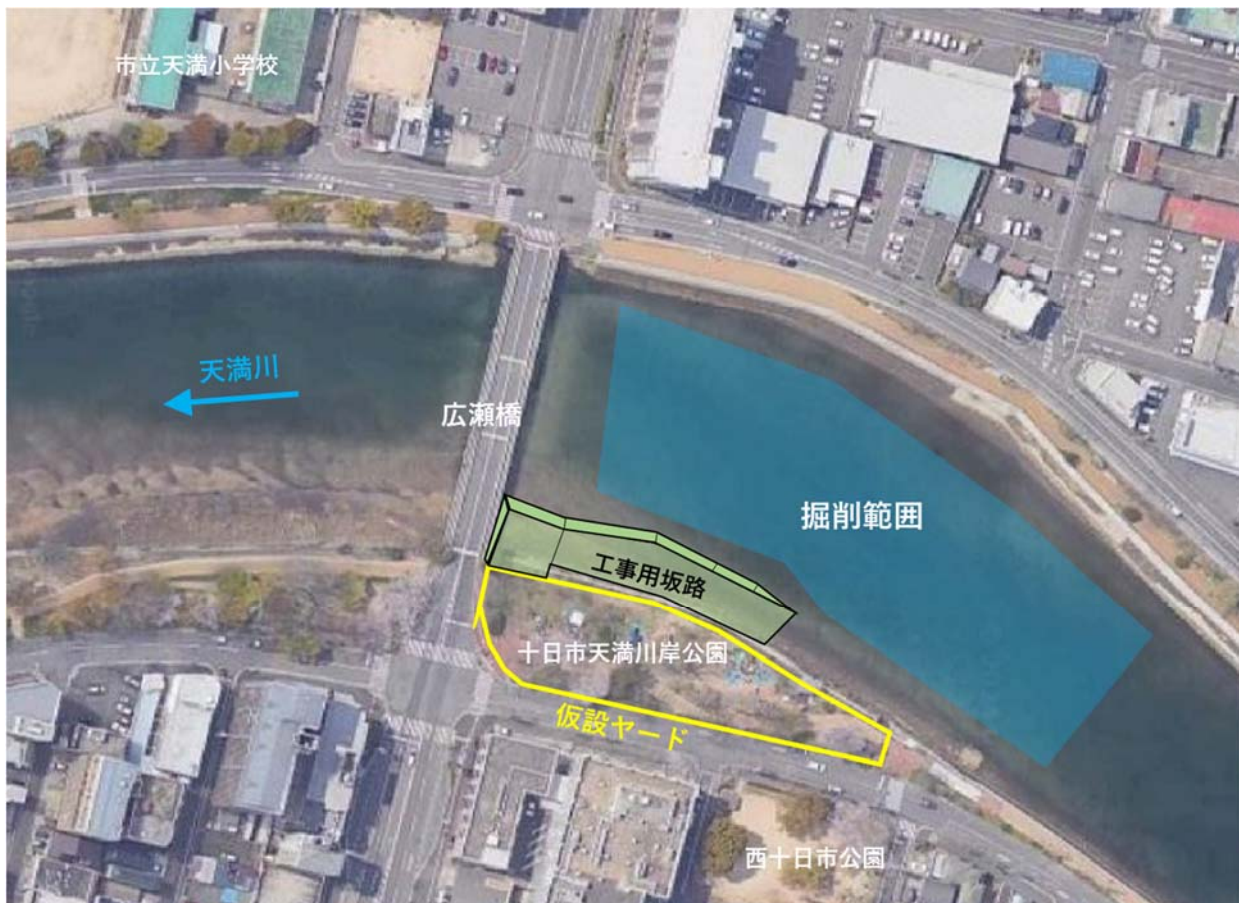
全掘削量 $V=47,000\text{m}^3$ のうち今回の工事では約 $5,200\text{m}^3$ の掘削を行います。掘削範囲については、今後工事の際に変更になる可能性があります。

本工事の施工にあたり、河川内への工事用車両の進入路および仮設ヤードとして広瀬橋左岸上流の十日市天満川岸公園箇所を工事期間中に利用します。それに伴い、支障となる樹木の一部をやむを得ず伐採しますが、既存の樹木を極力保全します。なお、当該箇所の河岸緑地の樹木伐採の範囲については、緑地管理者である広島市とも調整を行い決定しています。また、伐採するソメイヨシノについては、工事完了後に幼木の植樹を行うこととしています。



計画横断イメージ図*(上記平面図の A-A'断面)
 ※イメージ図であり、工事完成時と異なる場合があります。

○河岸緑地の仮設工イメージ
(十日市天満川岸公園)



<参考>

■太田川の高潮対策事業について

○過去の高潮被害

広島市は太田川の下流デルタ域に発達した大都市であり、市街地の主要部は干潟の干拓及び埋め立てによって拡大してきました。このため、地盤の高さが低く、高潮被害を受けやすいゼロメートル地帯となっています。

昭和期には、昭和17年8月周防灘台風その他、昭和26年10月のルース台風、昭和29年9月の洞爺丸台風と相次いで高潮災害に見舞われ、市内は甚大な被害を受けました。

平成に入ってから、平成3年9月の台風第19号による高潮被害その他、平成11年9月の台風第18号、平成16年8月の台風第16号と9月の台風第18号により高潮被害が繰返し発生しました。



平成16年の高潮状況
(広島市南区出島付近)



平成16年の高潮状況
(広島市西区観音付近)



平成16年の高潮状況
(広島市西区東観音付近)



○高潮対策事業の概要

この事業は、戦後最大規模の高潮被害となった伊勢湾台風級の台風が、広島湾を通過した場合に起こると想定される高潮の潮位（計画高潮位：T.P. 4.4m^{※1}）まで堤防を嵩上げするものです。

^{※1}T.P.とは、東京湾平均海面を0mとした高さの基準で、一般に「標高」と呼ばれています。